SHURE®

LEGENDARY
PERFORMANCE™

WIRELESS SYSTEM

QLX-D USER GUIDE

日本語

© 2014 Shure Incorporated
27A23617 (Rev. 1)

安全にお使いいただくために

危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

- 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場 合、装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態で損傷した場合は、整備が必要です。
- 装置に水滴やしぶきが付かないようにしてください。装置の上に花瓶などの液体の入った物を置かないでください。
- 本製品の改造は試みないでください。改造した場合には怪我や製品故障の原因となります。

⚠ 注意

- この製品は水の近くで使用しないでください。
- 掃除は、必ず乾いた布で拭いてください。
- 通風口を塞がないようにしてください。使用説明書に従って設置してください。
- ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器（アンプなど）の近くには設置しないでください。
- 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられています。無効にしないようにしてください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは、2本のブレードの他に、3本目のアースの棒がついています。幅広のブレードや3本目の棒は、安全のためにあるものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
- 電源コードは、特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないよう に保護してください。
- アタッチメントや付属品は、必ずメーカー指定のものをご利用ください。
- カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等は、メーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用くださ い。カートを使用する場合は、装置を載せて移動する際、怪我をしないよう注意してください。
- 雷を伴う嵐の際、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

●送信機技術基準適合証明ラベルについて

送信機は電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明番号を記した証明ラベルが1台ずつ貼ってあります。表示の改変、除去は法律で禁じられていますので、みだりに剥がしたり、損傷することのないよう注意してください。

●違法改造について

機器を分解したり、内部の部品に触れたりしないでください。改造等は法律で禁じられています。

警告

- バッテリーパックは爆発、または有毒な物質を放出する場合があります。火災または火傷の恐れがあります。開けたり、押し潰したり、改造したり、分解したり、60℃以上の熱に曝したり、焼却したりしないでください。
- メーカーの指示に従ってください。
- Shure充電器はShure再充電性電池の再充電にのみ使用してください
- 警告：電池が間違って交換された場合、爆発する恐れがあります。同じ種類または同等の種類の電池と交換してください。
- 決して口の中に電池を入れないでください。飲み込んだ場合は医師または最寄りの中毒事故管理センターまで連絡してください。
- ショートさせないでください。火傷または火災の原因となります。
- Shure充電式バッテリー以外のバッテリーパックを充電、または使用しないでください。
- バッテリーパックは正しく処分してください。使用済みバッテリーパックの適切な廃棄方法については、各地域の販売店にお問い合わせください。
- 電池（電池パックまたは取り付け電池）は直射日光、火などの高熱に曝さないでください。

警告：不適切な電池を使用すると爆発の危険があります。Shure対応電池のみを使用してください。

注: 付属電源、またはShure認可の電源でのみ使用してください。

ライセンスについて

許可免許： 本機器操作の際、行政上の認可免許が特定地域で要求される場合があります。考えられる必要条件については国内当局にお問い合わせください。本機器の変更・改造は、Shure Incorporated によって書面で認可されたものを除き、装置の使用の権限を無効にする場合があります。Shureワイヤレスマイクロホン装置のライセンス獲得は使用者の責任であり、ライセンス取得に関しては使用者の分類とアプリケーション、選択周波数によって異なります。適正な許可免許に関する情報を得るために、また標準とは異なる周波数を選択する場合は前もって、必ず適切な通信監督機関にお問い合わせください。

本クラスBデジタル機器はCanadian ICES-003に適合しています。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

注意：干渉の可能性を防止するため、ワイヤレスシステムの近くで携帯電話やモバイル ブロードバンド デバイスを操作しないでください。

ユーザーの方へのお知らせ

本機器はテストされFCC規定パート15に従いクラスBデジタル機器に適合しますが、制限があります。これらの制限は、住宅地域において設置する際、有害な電波干渉から機器を適度に保護するためのものです。本機器は電磁波を発生・使用し、放射する場合があります。取扱説明書に従って設置しないと無線通信に電波干渉が起こります。また、設置状況に関わらず妨害を引き起こす可能性もあります。本機器によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば（これは、機器の電源を一度切ってから入れるとわかります）、次の手段を1つまたは複数用いて電波干渉を防いでください。

- 受信アンテナを別の方向に向けるか、別の場所に移す。
- 機器と受信機の設置間隔を広げる。
- 受信機を接続しているコンセントとは別の回路にあるコンセントに機器を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者に相談する。

オーストラリアの無線に関する警告

このデバイスは、ACMAクラス ライセンスの下に動作しており、動作周波数を含む当該ライセンスのあらゆる条件に適合している必要があります。2014年12月31日までは、このデバイスは、520-820 MHz周波数帯域で作動される場合に適合しています。**警告：**2014年12月31日を過ぎたら、適合するためには、本デバイスを694-820 MHz帯域で作動させないでください。

Contents

警告 3
ライセンスについて 3
システムの概要 5
特長 5
クイックスタート 6
受信機の前パネルと後ろパネル 7
送信機 8
電池の装填 8
送信機の表示画面 9
送信機のメニューオプション及びナビゲーション 9
受信機の表示 10
受信機のメニューをナビゲートする 10
単3乾電池と送信機の作動時間 11
Shure SB900充電池 11
オーディオチャンネルの構築 12
スキャンとIR同期 12
手動のチャンネル割り当て 12
周波数のマニュアル選択 12
受信機ゲイン調節 13
送信機をRF電源に設定する 13
ボディパック型送信機の取付方法 13
地域別TVチャンネル間幅の設定 13
受信機と送信機のコントロールのロックオプション 14
音声信号の暗号化 14
二つの送信機を受信機にリンクする 15
周波数帯と受信機RF電源 15
カスタムグループ 16
ネットワーク 17
IPアドレスとサブネットマスクの手動設定 17
ネットワークスキャン 18
外部コントロールシステムに接続する 18
Shure AXT600スペクトラムマネージャー適合性 18
QLX-DをShure ULX-Dと使用する 18
QLX-Dをワイヤレスワークベンチ6で管理する 19
ファームウェアアップデート 20
エラーコードと解決策 20
トラブルシューティング 21
Hardware and Connectors 22
オプションアクセサリー 23
FREQUENCIES FOR EUROPEAN COUNTRIES 26
認証 27

システムの概要

QLX-D™ Digital Wirelessは、透明な24-bitデジタルオーディオを搭載し、明確な最新式のパフォーマンスを提供します。専門的な機能、シンプルなセットアップと操作を1つにしたQLX-Dは、厳しいライブサウンドのイベントや展示に対応した抜群のワイヤレス機能を発揮します。

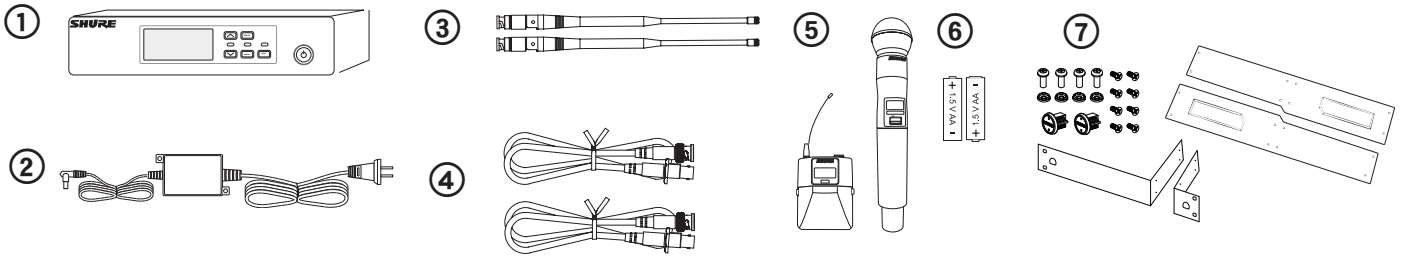
Shureのデジタルワイヤレス技術により、QLX-Dは拡張された実質的にフラットな周波数応答を使用して明確にきめ細かい音声を送信できます。QLX-DはRFスペクトラム効率が高くなるよう設計され、単一周波数帯域で同時に60を超えるチャンネルを作動できます。自動チャンネルスキャンとIR同期により、空き周波数を容易に発見して割り当てることができます。イーサネット接続は、複数の受信機にわたってネットワークチャンネルスキャン、および高度な周波数調整のためのShureワイヤレスワークベンチ®制御ソフトウェアの互換性を提供します。AES-256暗号化は標準であり、安全なワイヤレス送信のために簡単に有効化できます。

また、QLX-DはShureの充電式電源オプションを追加し、アルカリ電池に比べて飛躍的な長期コストの削減と送信機バッテリーの寿命延長が実現され、バッテリーメーターにはバッテリー残量が時間と分単位で表示されます。明確に定義されたパフォーマンスと革新により、QLX-DはShureの最新デジタルワイヤレス技術を提供します。

特長

- 透明な24-bitデジタルオーディオ
- 拡張された20 Hzから20 kHzの周波数域（マイクロホンによる）
- 120 dBダイナミックレンジ
- デジタル予測スイッチングダイバーシティ
- 64 MHzチューニング帯域幅（地域による）
- 周波数帯域につき60を超えるチャンネルが利用可能（地域による）
- 6MHz TV帯域につき最大17のシステムに対応、8 MHz帯域につき22のシステムに対応
- 赤外線（IR）スキャンとの同期により、送信機と受信機のペアリングが簡単
- 自動チャンネルスキャン
- イーサネットによるネットワークで多重受信システムに対応
- ネットワークチャンネルスキャンでネットワーク受信機に空き周波数を設定
- Shureワイヤレスワークベンチ®6制御ソフトウェアに対応
- ShurePlus™ Channelsアプリケーションを使用したモバイルデバイスまたはタブレットからの遠隔制御
- 安全なワイヤレス送信のためのAES-256暗号化
- 高コントラストLCDメニューを搭載した、洗練された使いやすいインターフェース
- AMX、Crestronなどの外部操作システムに対応
- プロ仕様の総金属製
- 送信機は単3形乾電池2本またはShure SB900充電池を使用

システムの構成



① QLXD4受信機
② PS23電源装置
③ 1/2波長アンテナ（2本）
④ 長さ0.6mのBNCケーブル（バルクヘッドアダプター2本付き）
⑤ QLXD1ボディパック送信機またはQLXD2ハンドヘルド型送信機
⑥ 単3アルカリ乾電池（アルゼンチンでは含まれていません）
⑦ ラックマウントハードウェア

モデル種類

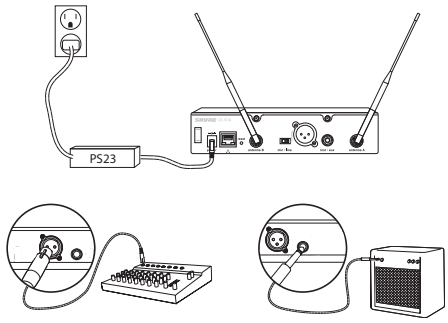
特定のパフォーマンス状況にあわせて、追加コンポーネントを含むモデル種類を利用できます。

QLXD2ハンドヘルド型送信機	QLXD1ボディパックギターシステム	QLXD1ボディパック頭部装着または小型マイク	ボディパックおよびハンドヘルドコンボシステム
以下のあらゆるマイクロホンカートリッジに対応するQLXD2ハンドヘルドを含む： ・SM58 ・Beta 58A ・SM86 ・Beta 87A ・SM87A ・Beta 87C ・KSM9 ・KSM9HS（ブラック） マイクロホンクリップ 電池コンタクトカバー ジッパー付きバッグ	QLXD1ボディパック送信機を含む WA305プレミアム楽器用ケーブル ジッパー付きバッグ	以下のあらゆるマイクロホンカートリッジに対応するQLXD1ボディパックを含む： ・Beta 98H/C ・WL93 ・WL183 ・WL184 ・WL185 ・MX150（オムニ） ・MX150（カーディオイド） ・MX153（ブラックまたはタン） ・SM35 ジッパー付きバッグ	・WL185 Microflexのカーディオイド小型マイクロホンを搭載したQLXD1ボディパック送信機 ・Shure SM58マイクロホンカートリッジを搭載したQLXD2ハンドヘルド型送信機 ・電池コンタクトカバー ・ジッパー付きバッグ（2個）

クイックスタート

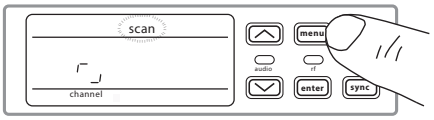
ステップ1:電源とアンテナの接続

① 個々のアンテナコネクタにアンテナを接続します。
② 電源を受信機に接続し、AC電源に接続します。
③ 受信機のオーディオ出力端子をミキサーまたはアンプに接続します。
④ 電源ボタンを長押しして受信機をオンにします。

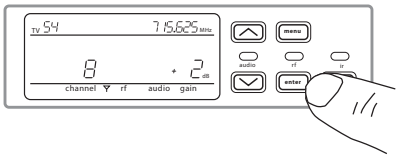


ステップ2:利用可能な最良のチャンネルをスキャンする

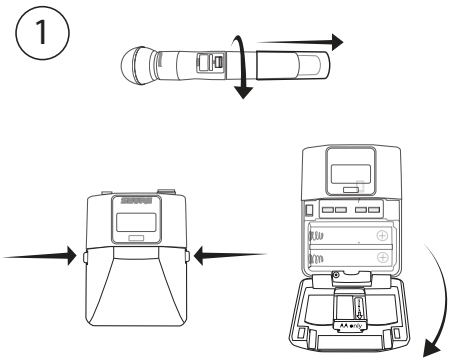
1. 受信機のmenuボタンを押して、スキャン機能にアクセスします。

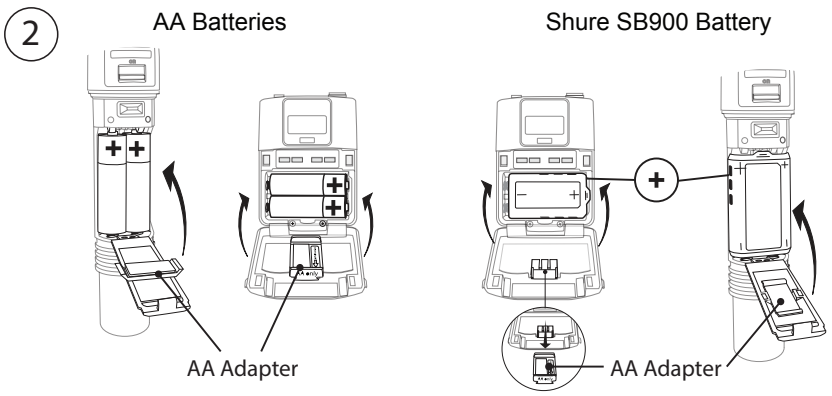


2. enterボタンを押して、周波数スキャンを開始します。スキャンモード中はスキャンアイコンが点滅します。スキャンが終了すると、選択されたチャンネルが表示されます。



ステップ3:送信機に電池を装填する





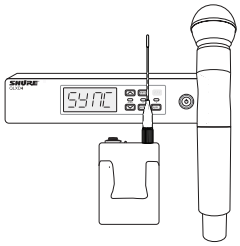
① 電池コンパートメントを開く
表示に従ってボディパックのサイドタブを押すか、携帯送信機のカバーについたネジを外して電池コンパートメントを開きます。

② 電池を装填する
- **単3形乾電池:**表示に従って電池(プラスとマイナスを確認)と単3乾電池アダプターを装填します
- **Shure SB900電池:**表示に従って電池(プラスとマイナスを確認)を装填し、単3乾電池アダプターをボディパック送信機から外して携帯送信機のドアに入れます

注:単3乾電池を使用する場合、電池を正確に計測するために送信機のメニューから電池の種類を選択します。

ステップ4:赤外線(IR)同期によりオーディオチャンネルを構築する

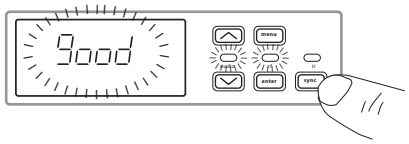
1. 送信機のスイッチをオンにします。
2. 受信機のsyncボタンを押します。同期モードが有効の間、赤いirLEDが点滅します。
3. 送信機と受信機の距離が15cm(6インチ)以内のところで赤外線(IR)同期ウインドウを合わせます。送信機と受信機を合わせると、赤いirLEDが点灯し自動的に同期が行われます。



< 15 cm (6 in.)

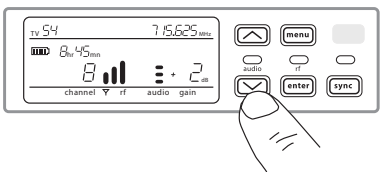
4. sync good 赤外線(IR)同期が完了したことが表示されます。青いrfLEDが点灯し、送信機と受信機が受信可能な距離にあることが示されます。

注:赤外線(IR)同期が失敗した時は、送信機と受信機の赤外線ウインドウを注意深く合わせて赤外線(IR)同期の手順をやり直してください。

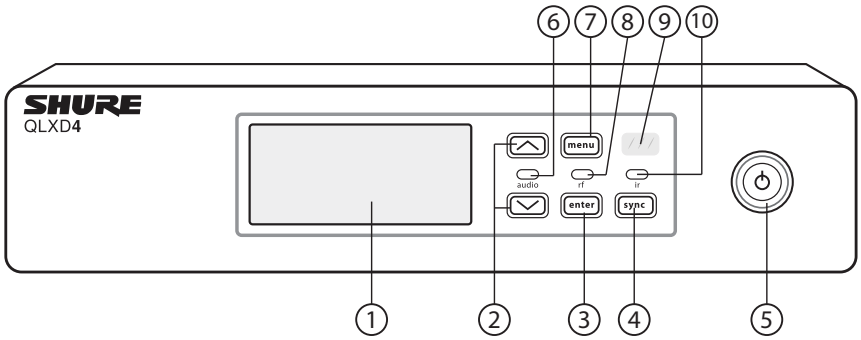


ステップ5:サウンドチェックとゲイン調節

1. audioメーターとaudioLEDモニター中に送信機をパフォーマンスレベルで試してください。audioメーターは通常最低3本のバーを表示し、audioLEDは緑色になっています。オーディオに聞き取れる歪みがあるときは、ゲインを下げてください。
2. 必要な場合は受信機の前パネルにある矢印ボタンを押して、ゲインを上げる、または下げます。



受信機の前パネルと後ろパネル



① ディスプレイ
メニューオプション、受信機と送信機の設定が表示されます。

② 矢印ボタン
ゲイン設定の調節またはメニューパラメータの変更をします。

③ 決定ボタン
これを押すとメニューやパラメータの変更が保存されます。

④ 同期ボタン
これを押すと赤外線(IR)同期が行われます。

⑤ 電源スイッチ
受信機の電源をオンまたはオフにします。

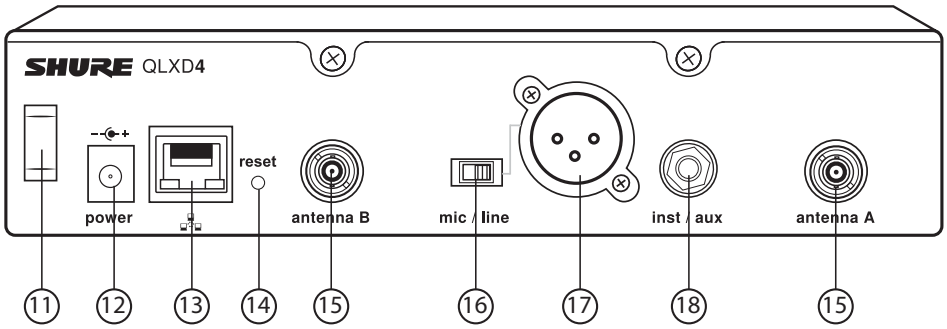
⑥ オーディオLED
- 緑 = 正常
- 黄 = シグナルがリミッター限界値に近づいています
- 赤 = クリッピング防止のためリミターが発動します

⑦ メニューボタン
- 押してメニュー画面にアクセスまたはメニュー画面を選択します
- 押して保留中の変更をキャンセルします
- 長押ししてホーム画面に戻ります

⑧ RF LED
送信機とのRFリンクが有効な場合に点灯します。

⑨ 赤外線(IR)ウィンドウ
赤外線(IR)同期中に送信機の赤外線ウインドウの位置に合わせると、送信機のプログラミングが自動的に行われます

⑩ 同期LED
- 点滅:赤外線(IR)同期モードが使用可能
- オン:赤外線(IR)同期のため受信機と送信機の位置が合わせられています



⑪ 電源コードのよじれ緩和
電源コードを保護します。

⑫ 電源プラグ
DC電源の接続ポイントです。

⑬ イーサネットポート
ネットワークに接続します。

- 琥珀色LED(ネットワーク速度):
オフ = 10 Mbps、オン = 100 Mbps
- 緑色LED(ネットワークステータス):
オフ = ネットワーク接続なし、オン = ネットワーク接続中
点滅 = 送信量に対応して速さが変化します

⑭ 受信機のリセット
これを押すと受信機のデフォルト設定に戻ります。

⑮ アンテナコネクタ
受信機アンテナ用のBNCコネクタです。

⑯ マイク/ラインスイッチ
マイクロフォンまたはラインの出力レベルを設定します。

⑰ XLRオーディオ出力
バランス(1:地上 2:オーディオ +、3:オーディオ -)

⑱ 1/4" 楽器/補助出力
インピーダンス バランス(先端:オーディオ、輪:オーディオ無し、スリーブ管:グラウンド)

送信機

① 電源LED
- 緑色 = ユニットの電源がオン
- 赤 = 電池残量低下

② オン/オフスイッチ
送信機の電源をオン/オフします。

③ 表示:
メニュー画面と設定を表示します。コントロールボタンのどれかを押すとバックライトが点灯します。

④ 赤外線(IR)ウィンドウ
受信機の赤外線(IR)ウィンドウに合わせて赤外線(IR)同期を行い、自動的に送信機をプログラミングします。

⑤ メニューナビゲーションボタン
menu = メニュースクリーンをナビゲートします。

▼▲ = メニュー画面の選択、メニューパラメータの編集、またはホーム画面表示オプションの選択に使用します。

enter = これを押すとパラメータの変更が確定し保存されます。

ヒント: パラメータを保存しないで終了するにはmenuボタンを押します。

⑥ 電池コンパートメント
単3形乾電池2本またはShure SB900充電池が必要です。

⑦ 単3乾電池アダプター
Shure SB900電池の代わりに単3乾電池を送信機に使用するとき電池を保護します。

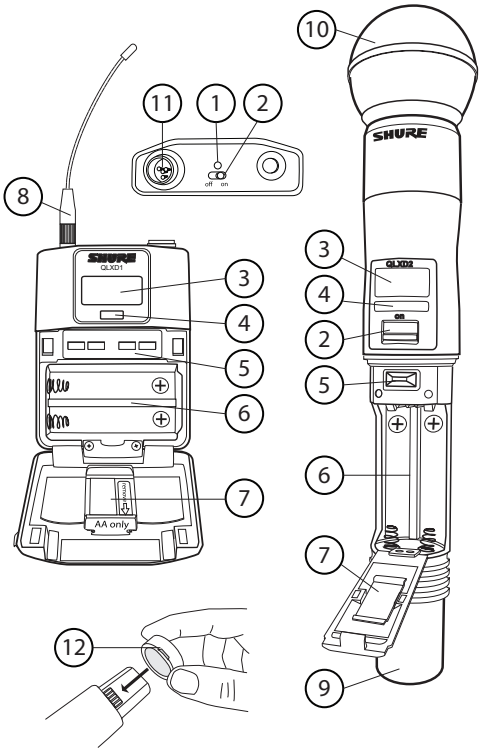
⑧ ボディパックアンテナ
RF信号送信用。

⑨ ハンドヘルド統合アンテナ
RF信号送信用。

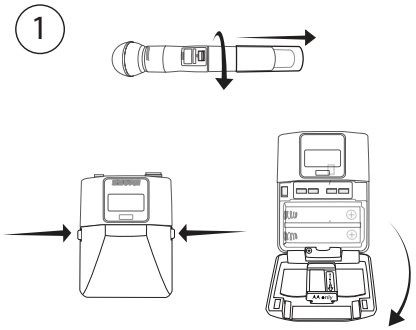
⑩ マイクロホンカートリッジ
互換性のあるカートリッジのリストについてはオプションのアクセサリーを参照してください。

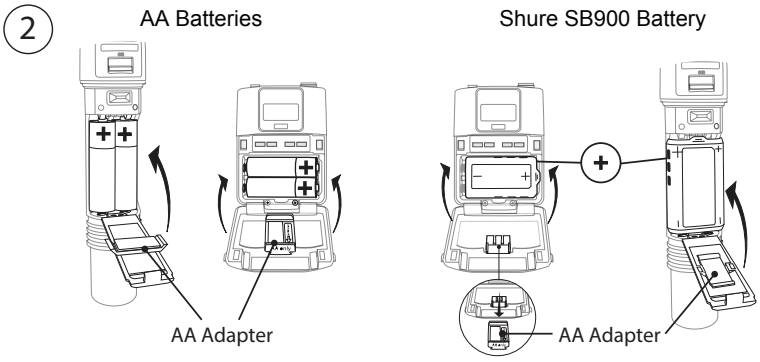
⑪ TA4M入力プラグ
4ピンミニコネクター(TA4F)付きマイクロホン、または楽器用ケーブルを接続。

⑫ 電池コンタクトカバー
ブロードキャストまたはパフォーマンス中に電池接続による反響がないように、表示に従ってカバーの位置を合わせます。



電池の装填





① 電池コンパートメントを開く
表示に従ってボディパックのサイドタブを押すか、携帯送信機のカバーについたネジを外して電池コンパートメントを開きます。

② 電池を装填する
- **単3形乾電池:** 表示に従って電池(プラスとマイナスを確認)と単3乾電池アダプターを装填します
- **Shure SB900電池:** 表示に従って電池(プラスとマイナスを確認)を装填し、単3乾電池アダプターをボディパック送信機から外して携帯送信機のドアに入れます

注: 単3乾電池を使用する場合、送信機のメニューを使って電池の種類を設定します。

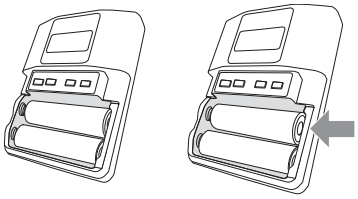
単3乾電池の種類の決定

送信機の作動時間を正確に表示するため、装填されている単3乾電池の種類に合うように送信機メニューで電池の種類を設定します。Shure SB900充電式電池を装填する場合、電池の種類の設定は必要ないので電池タイプメニューは表示されません。

1. menuボタンを押して、電池アイコンにナビゲートします。
2. ▼▲ボタンを使って、装填した電池の種類を選択します:
   - AL = アルカリ電池
   - nH = ニッケル水素電池
   - Li = リチウム一次電池
3. enterを押して保存します。

単3乾電池の装填

電池を確実に接続し、カバーをしっかりと閉じることができるように、表示に従って電池を奥まで挿入します。



正 **誤**

送信機の表示画面

① 電池インジケーター
表示されているバーは、電池残量を表示します。

② ホーム画面ディスプレイ：チャンネル/周波数/SB900電池動作時間
矢印キーを使用して以下のホーム画面ディスプレイの1つを選択します。

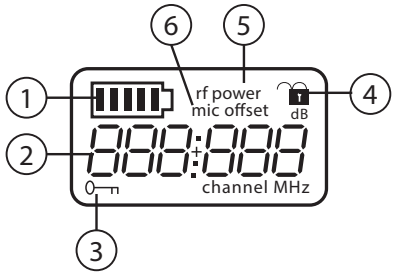
チャンネル	SB900電池動作時間	周波数

③ 暗号化ステータス
暗号化が有効になるとアイコンが表示されます。

④ ロック
送信機コントロールがロックされているときに表示されます。

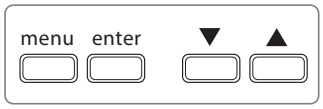
⑤ RF電源
RF電源設定（LoまたはHi）。

⑥ マイクオフセット
3 dB単位でmic offsetレベルを表示します。

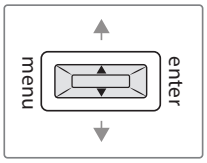


送信機コントロール

- パラメータを増加、減少または変更させるには、▼▲ ボタンを使用します
- メニューの変更を保存するには、次を押してください enter
- 変更を保存しないでメニューを終了するには、menuボタンを押します



ボディパック



ハンドヘルド型

送信機のメニューオプション及びナビゲーション

この送信機には送信機の設定と調節のための個々のメニュー画面があります。ホーム画面からメニューオプションにアクセスするにはmenuボタンを押します。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が表示されます。

① ホーム画面
矢印キーを使用して以下のホーム画面ディスプレイの1つを選択します。

- 電池アイコンとチャンネル
- 電池アイコン/周波数
- 電池アイコン/電池動作時間（SB900 装填）

② チャンネル
チャンネルをスクロールするには矢印ボタンを使用します。

③ 周波数
周波数を調節するには矢印ボタンを使用します。長押しするとすばやくスクロールできます。

④ ロック
ロック オプションを選択します：

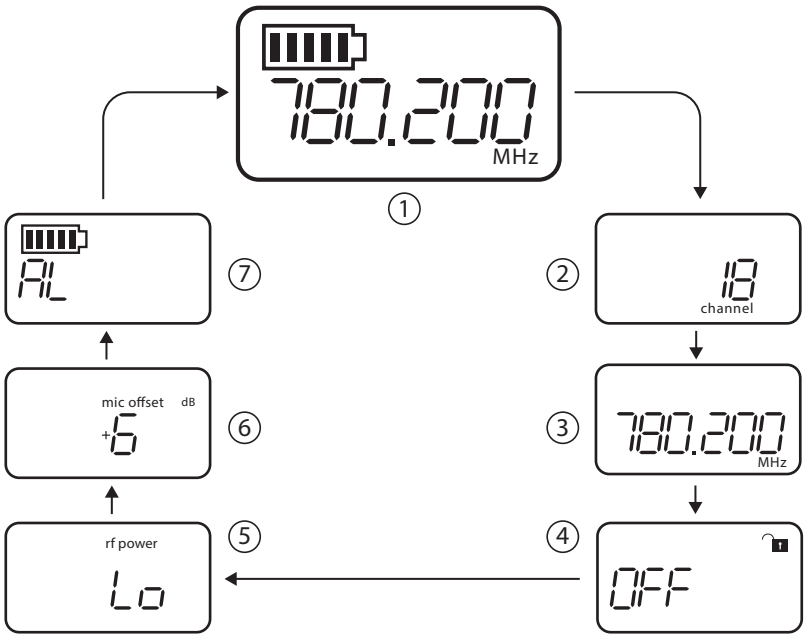
- On = コントロールがロックされている
- OFF = コントロールのロックが解除されている

⑤ RF電源
高周波（RF）電力の設定を選択します：

- 低 = 1 mW
- 高 = 10 mW

⑥ マイク オフセットdB
コンボシステムに使用される2つの送信機間のオーディオレベルを一致させるために使用します。範囲は0から21dBまでです（3 dBごと）。調節はリアルタイムで発生します。

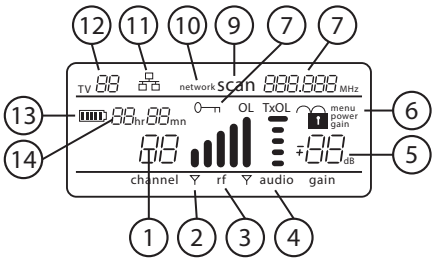
⑦ 電池の種類
電池を正確に計測するため、装填した単3乾電池の種類に従って電池の種類を設定します。Shure SB900電池を使用する場合はメニューが表示されません。



メニューパラメータ設定のヒント

- ホーム画面からメニューオプションにアクセスするにはmenuボタンを押します。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が表示されます。
- 編集が可能になるとメニューパラメータが点滅します
- パラメータを増加、減少または変更させるには、矢印ボタンを使用します
- メニューの変更を保存するには、次を押してください enter
- 変更を保存しないでメニューを終了するには、を押します menu

受信機の表示



① チャンネル
チャンネル設定が表示されます。

② アクティブアンテナインジケーター
どのアンテナが有効かを点灯によって示します。

③ RFシグナルメーター
表示されているバーの数がRFシグナルのレベルに対応しています - OL=オーバーロード

④ オーディオメーター
表示されているバーの数がRFオーディオのレベルに対応しています。

- OL = クリッピング防止のため受信機のオーディオリミッターが有効になると点灯します
- TxOL = 送信機の入力がオーバーロードのとき点灯します。マイクロホンまたは楽器からの入力を削減してクリッピングを防止します。

⑤ ゲインレベル
1 dB単位で受信機のゲイン設定を表示します。

⑥ 受信機のロックステータス
ロックのアイコンとロックされている動作の名称:

- menu
- power
- gain

⑦ 周波数設定
選択した周波数(MHz)

⑧ 暗号化ステータス
暗号化が有効になると点灯します。

⑨ スキャン
scan機能が有効の場合に表示されます。

⑩ ネットワークスキャン
多重受信システムでnetwork scan機能が有効の場合に表示されます。

⑪ ネットワーク接続インジケーター
ネットワーク上に追加されたShureのコンポーネントを検出すると点灯します。

⑫ TVチャンネル
選択した周波数を含むTVチャンネルの数を表示します。

⑬ 送信機電池アイコン
電池寿命残量を示します。

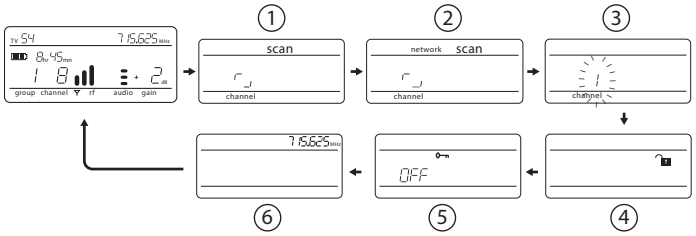
⑭ SB900電池動作時間
送信機にShure SB900充電式電池を使用しているときは、残りの動作時間が時間と分単位で表示されます。

受信機のメニューをナビゲートする

メインメニューから受信機のセットアップと設定を行い、詳細メニューから受信機のその他の機能にアクセスします。

メインメニュー

menuボタンを押してメニューにアクセスします。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が以下の順番で表示されます:



① スキャン
受信機は利用可能な最良の周波数を自動スキャンします

② ネットワークスキャン
同一の周波数帯域にあるネットワーク受信機の周波数をスキャンします

③ チャンネル
受信機チャンネルの設定を編集します

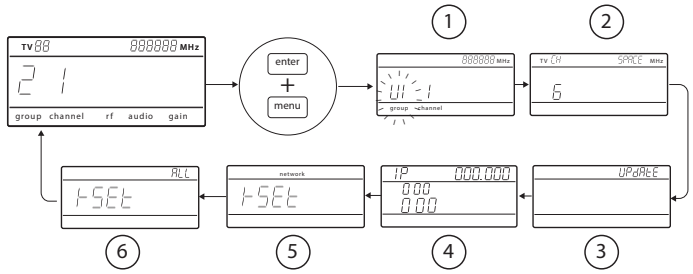
④ ロック
ロックオプションの操作を選択します

⑤ 暗号化
矢印ボタンを使用して暗号化を有効にする(on)または暗号化を無効にします(off)

⑥ 周波数
矢印ボタンを使って周波数値を編集します

詳細メニュー

メインメニューのホーム画面のmenuを押しenterボタンを長押して詳細メニューにアクセスします。menuボタンを押すごとに次のメニュー画面が以下の順番で表示されます。



① カスタムグループ
カスタムグループにチャンネルと周波数を追加するのに使います

② TVチャンネル間幅
TVチャンネルディスプレイの領域内での帯域を選択します

③ ファームウェアアップデート
受信機と送信機のファームウェアのアップデートに使います

④ IP設定
IP設定とサブネットマスクを選択および編集するのに使います

⑤ ネットワークリセット
ネットワーク設定とIPアドレスを初期設定に戻します

⑥ 出荷時設定にリセット
出荷時の設定に戻します

アプリケーションと構成の詳細については、各詳細機能の関連ガイドトピックを参照してください。

メニューパラメータ設定のヒント

- パラメータを増加、減少または変更させるには、矢印ボタンを使用します
- 編集が可能になるとメニュー設定が点滅します

- メニューの変更を保存するには、次を押してください enter
- 変更を保存しないでメニューを終了するには、を押します menu
- 詳細メニューにアクセスするには、ホーム画面からmenuボタンを長押ししながらenterを押します
- 詳細メニューからホーム画面に戻るには、menuボタンを長押しします。

単3乾電池と送信機の作動時間

QLX-D送信機には次の単3乾電池が使用できます：

- アルカリ
- ニッケル水素（NiMH）
- リチウム一次電池

送信機と受信機の画面に表示されている5段階の電池インジケーターは送信機電池の充電レベルを示しています。次の表は推定残りの作動時間を時間と分で表しています。

アルカリ電池：最大動作時間9時間

電池インジケーター	残りの推定動作時間（時：分）
	9:30〜7:30
	7:30〜5:30
	5:30〜3:30
	3:30〜2:30
	2:30〜1:30
	< 0:30

ニッケル水素電池：最大動作時間10時間

電池インジケーター	残りの推定動作時間（時：分）
	10:00〜8:00
	8:00〜6:00
	6:00〜4:00
	4:00〜2:00
	2:00〜0:20
	0:20〜0:00

リチウム一次電池：最大動作時間16時間

電池インジケーター	残りの推定動作時間（時：分）
	16:00〜12:45
	12:45〜9:30
	9:30〜6:30
	6:30〜3:15
	3:15〜0:20
	0:20〜0:00

Shure SB900充電池

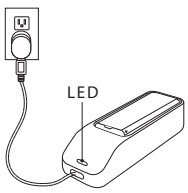
Shure SB900リチウムイオン電池はQLX-D送信機の電源として充電オプションを提供します。充電池は、1時間で容量の50%を充電でき、3時間で完全に充電できます。

単一充電器と複合ベイ充電器がShure電池の充電に使用可能です。

注意：Shure電池充電器ではShure充電式電池のみを充電してください。

単一ベイ充電器

単一ベイ充電器はコンパクトな充電ソリューションを提供します。



1. 充電器をAC電源またはUSBポートに繋ぎます。
2. 充電ベイに電池を挿入します。
3. 充電が完了するまで、充電状態LEDsを監視します。

充電状態LED

色	ステータス
赤色	充電中
緑色	充電完了
オレンジ色の点滅	エラー：接続と電池をチェックしてください
オフ	ベイに電池が入っていません

Shure充電式電池の管理と保存に関する重要なヒント

Shure電池の適切な管理と保存は高い信頼性と長い寿命を保証します。

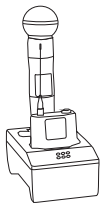
- 常に電池と送信機を常温で保存してください
- 電池を長期的に保存する場合、なるべく、最大容量の約40%に充電してください
- 保存中、6ヶ月毎に電池を調べ、必要に応じて最大容量の40%に再充電してください

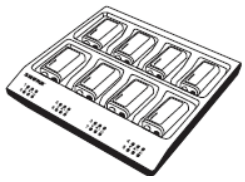
複合ベイ充電器

Shureは複合ベイ充電器の2つのモデルを有しています：

- SBC-200 2ベイ充電器
- SBC-800 8ベイ充電器

複合ベイ充電器は個々の電池、または送信機に装填された電池を充電可能です。





1. 充電器AC電源に接続します。
2. 充電ベイに電池、または送信機を挿入します。
3. 充電が完了するまで、充電状態LEDsを監視します。

充電状態LED

色	ステータス
緑色	充電完了
赤色/緑色	充電レベル90%以上
赤色	充電中
オレンジ色の点滅	エラー：接続と電池をチェックしてください
オフ	ベイに電池が入っていません

オーディオチャンネルの構築

ワイヤレスオーディオチャンネルは、受信機と送信機が同じ周波数に合わせられると形成されます。セットアップを簡単にするために、QLX-Dシステムに使用可能な周波数がチャンネルに分けられています。各チャンネルは特定のプリセット周波数に割り当てられています。

QLX-Dシステムは、受信機と送信機を同じ周波数に合わせるための3つの方法を提供します。

- **スキャンとIR同期：**受信機は利用可能な最良の周波数についてRFスペクトラムをスキャンし、IR同期が送信機を受信機の周波数に自動的に同調します。
- **手動のチャンネル割り当て:**受信機と送信機を同じチャンネル番号に手動で設定することにより、オーディオチャンネルを形成します
- **手動の周波数割り当て：**チャンネルを使用する代わりに受信機と送信機を同じ周波数に手動で設定することで、オーディオチャンネルを形成します

重要：スキャンまたは周波数の割り当てを開始する前に：

- **以下をオフにしてください：**周波数スキャンへの干渉を防止するために設定しているあらゆるシステム用の送信機。
- **以下をオンにしてください：**占有周波数の選択を防止するための、他のワイヤレスシステム、コンピューター、CDプレーヤー、大型LEDパネル、およびエフェクトプロセッサーを含む以下の潜在的な干渉源。

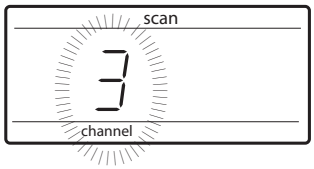
スキャンとIR同期

オーディオチャンネルを作成する最も簡単な方法は、スキャン機能を使用して利用可能な最良の受信機チャンネルを検出し、IR同期機能を使用して自動的に送信機を受信機チャンネルに同調することです。

ステップ1:スキャンして最良のチャンネルを検出する

スキャン機能は、自動的に最良の受信機とチャンネルを選択します。

1. Scanメニューオプションにナビゲートしてください。
2. enterを押してスキャンを開始します。
3. スキャンが終了すると、チャンネルが表示されます。

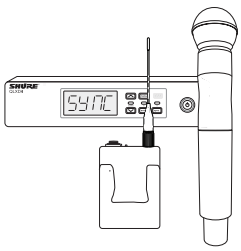


ステップ2：受信機の自動設定のためのIR同期

IR同期を実行すると、送信機が受信機の周波数に自動的に同調し、ワイヤレスオーディオチャンネルを形成します。

1. 送信機のスイッチをオンにします。
2. 受信機のsyncボタンを押します。同期モードが有効の間、赤いirLEDが点滅します。
3. 送信機と受信機の距離が15cm（6インチ）以内のところで赤外線（IR）同期ウインドウを合わせます。送信機と受信機を合わせると、赤いirLEDが点灯し自動的に同期が行われます。
4. sync good 赤外線（IR）同期が完了したことが表示されます。青いrfLEDが点灯し、送信機と受信機が受信可能な距離にあることが示されます。

   注：赤外線（IR）同期が失敗した時は、送信機と受信機の赤外線ウインドウを注意深く合わせて赤外線（IR）同期の手順をやり直してください。



< 15 cm (6 in.)

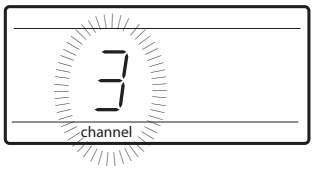
手動のチャンネル割り当て

オーディオチャンネルは、受信機と送信機を同じチャンネル番号に設定するだけで手動作成できます。例えば、受信機がチャンネル3に設定されていて送信機がチャンネル3に設定されていると、オーディオチャンネルが形成されます。

IR同期によるチャンネルの自動作成の代わりに、手動のチャンネル設定を使用して特定のチャンネルを受信機と送信機に割り当てます。

以下のステップを使用して、受信機と送信機でチャンネルを設定します：

1. channel設定にナビゲートしてください。
2. チャンネルをスクロールするには矢印ボタンを使用します。
3. enterを押してチャンネルを選択し、保存します。

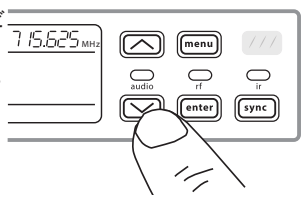


周波数のマニュアル選択

送信機と受信機を特定の周波数に設定するために、チャンネルの代わりに手動の周波数選択を使用できます。例えば、受信機と送信機を同じ周波数に設定することによりオーディオチャンネルを作成できます。

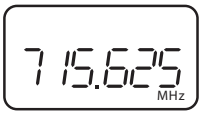
受信機の周波数の設定

1. menuを押してfrequency設定オプションにナビゲートします。
2. 周波数を調節するには矢印ボタンを使用します。長押しするとすばやくスクロールできます。
3. enterを押して保存します。



送信機周波数の設定

1. menuを押してfrequency設定オプションにナビゲートします。
2. 周波数を調節するには矢印ボタンを使用します。長押しするとすばやくスクロールできます。
3. enterを押して保存します。



受信機ゲイン調節

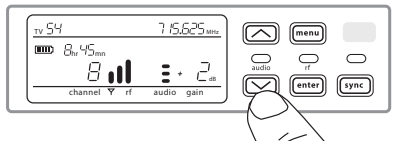
ゲイン操作はシステム全体の信号レベルをセットします。初期設定のゲインレベルは12 dBで、利用可能なゲイン範囲は -1 dB単位で18から42 dBです。

audioLEDが緑色または黄色になり、最高オーディオピークだけがLEDを赤色に時折点灯させてリミッターを発動させるレベルにゲインをセットしてください。オーディオに聞き取れる歪みがあるときは、ゲインを下げてください。

受信機ホーム画面から矢印を使用してゲインを上げる、または下げることができます：

- 一回押す毎にゲインが1 dB増加します
- より大きな調節にはボタンを押し続けてください。

ゲインを調節する際に、パフォーマンスレベルで送信機を試してください。audioメーターとaudioLEDを監視してオーバーロードを防止します。



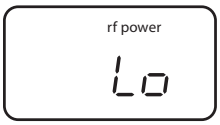
送信機をRF電源に設定する

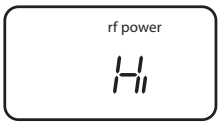
送信機は、送信機範囲を決定する2つのRF電源設定を有します。

- Lo = 1 mW
- Hi = 10 mW

送信機と受信機が近接している際はLo設定を使用します。

1. 送信機rf powerメニューにナビゲートしてください。
2. 矢印ボタンを使用してHi、またはLoを選択してください。
3. enterを押して保存します。

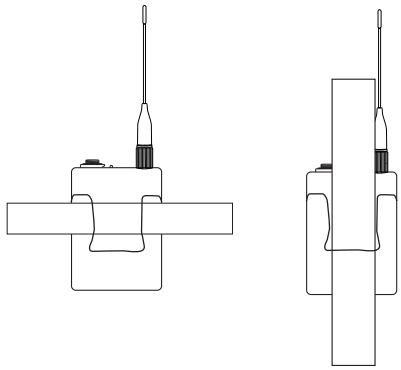




ボディパック型送信機の取付方法

図のように、送信機をベルトに留めるか、送信機のクリップにギターストラップを通します。

確実に固定するために、ベルトをクリップの奥まで押し込んでください。

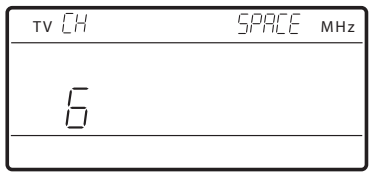


地域別TVチャンネル間幅の設定

TVチャンネル間幅のパラメータにより、受信機が地域別TV帯域使用に一致し、地方のTVチャンネルを正確に表示できるようになります。

以下のチャンネル帯域オプションが使用できます：

- 6MHz
- 7MHz
- 8MHz
- 6JP（日本）
- off（TVチャンネル表示のオフに使用してください）



TVチャンネル間幅をセットするには：

1. 詳細機能メニューにアクセスするにはenterボタンを長押しし、menuボタンを押してください。
2. menuボタンを押して、TVCHメニューにナビゲートします。
3. 矢印ボタンを使用して地域に対応したチャンネル帯域を選択してください。
4. enterを押して保存します。

受信機と送信機のコントロールのロックオプション

誤って設定を変えてしまったり権限のない人が変更したりすることを防ぐため、受信機と送信機の両方にコントロールのロックオプションがあります。ロックは、直接コンポーネントメニューから、または遠隔でWWB6から設定できます。保護を維持するために、送信機をオフおよびオンにする際にはコントロールはロックされたままになります。

受信機コントロールのロックおよびロック解除

受信機は、独立して、または組み合わせて使用可能な以下のコントロールロックオプションを搭載しています：

- gain：オーディオゲイン設定の変更を防止するために矢印ボタンをロックします
- menu：メニューアイテムおよびIR同期へのアクセスを防止します（ゲイン操作および電源スイッチは有効なままになります）
- power：電源スイッチを無効にします（ゲイン操作およびメニュー操作は有効なままになります）

受信機コントロールをロックするには：

1. menuボタンを押して、ロック設定にナビゲートします。
2. 矢印ボタンを使用して、ロックアイコンの隣に表示されるロックオプションを追加または削除します。
3. enterを押してロック設定を保存します。

受信機のロックを解除するには：

ヒント：メニューのロックを解除してすべてのロックを除去するには、ホーム画面が表示されている間にロック解除アイコンが表示されるまでmenuボタンを長押しします。enterを押して変更を確認および保存します。

1. gainまたはpower設定のロックを解除するには、menuボタンを押してロック設定にナビゲートします。
2. ロックオプションの選択を解除するには、矢印ボタンを押します。
3. enterを押して変更を確認および保存します。

送信機コントロールのロックおよびアンロック操作

送信機コントロールは、送信機のロックメニューからOn（ロック）またはOFF（ロック解除）を選択してロックまたはロック解除できます。

ロックされているコントロールへのアクセスを試みると、ロックアイコンが点滅して送信機コントロールがロックされていることが示されます。

送信機のロックを設定するには：

1. menuボタンを押して、ロック設定にナビゲートします。
2. 矢印ボタンを使用してonを選択してください。
3. enterを押して保存します。ロックアイコンが表示され、コントロールのロックが有効であることを確認します。

送信機のロックを解除するには：

1. menuとロック解除アイコンが表示されるまで、OFFボタンを長押しします。
2. enterを押して変更を保存します。

音声信号の暗号化

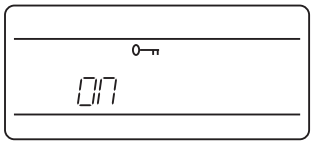
QLX-D受信機は、オーディオ信号を保護するための高度な暗号化基準（AES-256）を搭載しています。暗号化を有効にすると、受信機により固有の暗号化キーが生成され、IR同期中に送信機と共有されます。暗号化キーを共有する送信機と受信機により、保護されたオーディオパスが形成され、他の受信機からの不正なアクセスを防ぐことができます。安全を維持するために、コンポーネントはオフおよびオンにされる際に暗号化されたままになります。

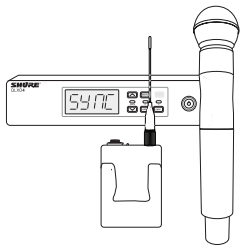
暗号化されたオーディオチャンネルの作成

1. menuボタンを押して、キーアイコンにより示される暗号化メニューにナビゲートします。
2. 矢印ボタンを使用して暗号化オプションを選択します：
   - on = 暗号化を有効にする
   - OFF = 暗号化を無効にする
3. enterを押して保存します。キーアイコンが受信機ディスプレイに表示されます。
4. syncボタンを押して送信機と受信機のIR同期ウィンドウを向かい合わせにします。IR同期が完了して受信機から暗号化キーが転送されると、暗号化キーアイコンが送信機画面に表示されます。

追加の送信機は、同一の暗号化キーを1台の受信機と共有できます。IR同期を実施して追加の各送信機を暗号化します。

注：暗号化を無効にするようにOFFが選択されている場合、IR同期を実施して送信機から暗号化キーを消去し、暗号化の不一致エラーまたはFAILメッセージを防止します。





< 15 cm (6 in.)

暗号化の解除

1. menuボタンを押して、暗号化メニューにナビゲートします。
2. OFFを選択します。
3. Enterを押して保存します。
4. 送信機と受信機をIR同期させて送信機から暗号化キーを消去し、FAILメッセージにより示されるコンポーネント間の暗号化キーの不一致を防止します。

注：暗号化がoffからonに設定されると、受信機により新しい暗号化キーが生成され、受信機を送信機にIR同期して新しいキーを共有する必要があります。

二つの送信機を受信機にリンクする

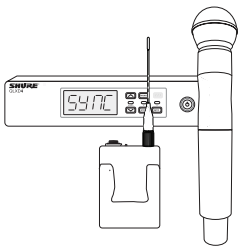
二つの送信機を受信機にリンクすることでパフォーマーは好みに応じてハンドヘルド、またはボディパック送信機を選択することができます。楽器の変更を必要とするパフォーマンスについては、2台のボディパック送信機を1台の受信機にリンクさせることができます。

注: 送信機同士の干渉を避けるため、一回に一つの送信機のみをオンにし、作動させてください。

送信機を受信機に同期させる

両方の送信機は受信機に赤外線(IR)同期を通してリンクされていなければなりません。

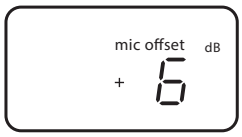
1. 最初の送信機をオンにして受信機と赤外線(IR)同期を実行してください。
2. サウンドチェックを実行し、必要な場合、送信機のゲインを調節してください。終了後、送信機をオフにしてください。
3. 二つ目の送信機をオンにして受信機と赤外線(IR)同期を実行してください。
4. 送信機をパフォーマンス状態で試し、必要な場合、送信機のゲインを調節してください。終了後、送信機をオフにしてください。



< 15 cm (6 in.)

オーディオレベルをマイクオフセットに合わせる

2台の送信機を1台の受信機にリンクする際は、マイクロホンまたは楽器間の音量レベルに差がある可能性があります。そのような差がある場合、MicOffset機能を使用してオーディオレベルを合わせて、送信機同士に聞こえる音量の差を除去します。1台の送信機を使用している場合は、MicOffsetを0 dBに設定します。



1. 最初の送信機をオンにし、オーディオレベルを試すためにサウンドチェックを実行してください。終了後、送信機をオフにしてください。
2. 二つ目の送信機をオンにし、オーディオレベルを試すためにサウンドチェックを実行してください。
3. 送信機同士に聞こえるサウンド差がある場合、送信機上のMicOffsetメニューにナビゲートし、リアルタイムでマイクオフセットがオーディオレベルに合うように上げる、または下げてください。

周波数帯と受信機RF電源

帯域	周波数帯域(MHz)	RF出力(mW)
G50	470-534	1または10
G51	470-534	1または10
G52	479-534	1または10
H50	534-598	1または10
H51	534-598	1または10
H52	534-565	1または10
H53	534-598	1または10
J50	572-636	1または10
J51	572-636	1または10
JB	806-810	1または10
K51	606-670	1または10
K52	606-670	1または10

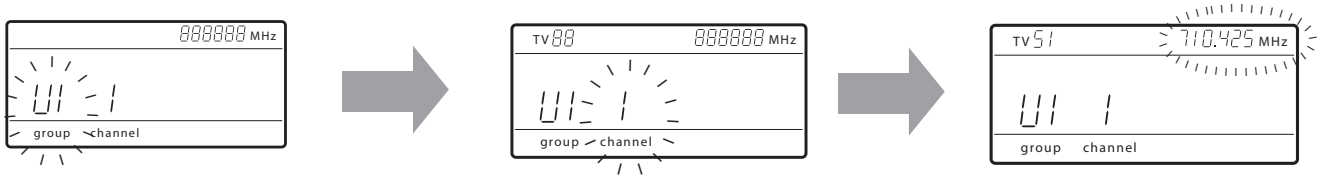
帯域	周波数帯域(MHz)	RF出力(mW)
L50	632-696	1または10
L51	632-696	1または10
L52	632-694	1または10
L53	632-714	1または10
P51	710-782	1または10
P52	710-782	1または10
Q51	794-806	1または10
S50	(823-832) (863-865)	1または10
X51	925-937.5	1または10

カスタムグループ

特定のチャンネルと周波数を選択してカスタムグループに設定できます。一般に、カスタムグループはネットワーク上の受信機を特定の周波数域に割り当てるか、受信機をレンタル用途に事前設定するために使用されます。カスタムグループが作成されると、groupメニューを使用して受信機にロードできます。

ネットワークスキャンを使用してカスタムグループを選択した受信機から周波数を割り当てる場合、その受信機からのあらゆるカスタムグループ（U1、U2、U3など）がネットワーク上のその他すべての受信機にロードされます。

カスタムグループの作成



カスタムグループの選択

受信機には、U1、U2、U3、U4、U5、U6と名付けられた6つの利用可能なカスタムグループがあります。

a. カスタムグループ画面にアクセスするには、menuボタンを長押ししながらenterを押します。

b. 点滅により示されているグループの編集を有効にするにはenterを押します。

c. 矢印ボタンを使用してグループを選択します（U1からU6）。

d. enterを押してチャンネル選択に進みます。

チャンネルの選択

a. 矢印ボタンを使用してチャンネルを選択します（1～60）。各グループには最大で60のチャンネル（周波数）を含めることができます。

b. enterを押して選択したチャンネルを保存し、周波数の割り当てに進みます。

周波数をチャンネルに割り当てる

a. 矢印ボタンを使用して、選択したチャンネルに周波数を割り当てます。

b. enterを押して保存します。

enterを押すと、チャンネルが点滅してチャンネルと周波数をさらにカスタムグループに追加できるようになります。チャンネルと周波数をさらに追加するには、ステップ2と3を繰り返します。完了したら、menuボタンを数回押してメインメニューに戻ります。

カスタムグループからの送信機IR同期

グループとチャンネルの情報が正確に表示されるようにするには、CustomGroupメニュー画面から送信機をIR同期します：

1. カスタムグループ画面にアクセスするには、menuボタンを長押ししながらenterを押します。
2. 送信機をオンにして受信機のsyncボタンを押します。
3. 送信機と受信機のIR同期ウィンドウを向かい合わせにします。
4. sync good 赤外線（IR）同期が完了したことが表示されます。

注：赤外線（IR）同期が失敗した時は、送信機と受信機の赤外線ウインドウを注意深く合わせて赤外線（IR）同期の手順をやり直してください。

カスタムグループの削除

1. カスタムグループ画面にアクセスするには、menuボタンを長押ししながらenterを押します。
2. 点滅により示されているグループの編集を有効にするにはenterを押します。
3. 矢印ボタンを使用して、グループ番号と単語DELを表示するようナビゲートします。
4. enterを押してグループを削除します。

カスタムグループから個々のチャンネルを削除するには、以下を実行してください：

1. カスタムグループメニューに入り、削除するチャンネルの周波数を選択します。
2. 周波数が表示されるまで矢印ボタンを長押しします---.---MHz。
3. menuボタンを長押しして変更を確認し、終了します。

ワイヤレスワークベンチ6を使用してカスタムグループを作成する

カスタムグループは、周波数調整タブにアクセスしてWWB6で作成できます。カスタムグループの設定に関する詳細な説明については、WWB6ヘルプシステムを参照してください。

ネットワーク

受信機は、イーサネット接続を使用してその他のコンポーネントとネットワーク接続し、また、DHCPが有効化されたルータに接続されている際に自動ネットワーク設定するための内部DHCPクライアントが含まれています。

ネットワークへの接続

1. 受信機の背面にあるイーサネットポートにイーサネットケーブルを挿入します。
2. ケーブルをコンピューターまたはルータに接続します。
3. 受信機のポートLEDが点灯し、ネットワーク接続状況とネットワークトラフィックを表示します。

自動IPアドレス設定

1. サーバーのDHCPサービスを有効にするか、DHCPが有効化されたルータを使用します。
2. 受信機の電源がオンになっている場合、DHCPサーバーは自動的にIPアドレスを受信機に割り当てます。

ヒント：詳細機能メニューで利用可能なネットワークリセットオプションを使用して、受信機を初期設定のDHCPアドレス設定モードに戻します。

構成のヒント

- シールドされたCat 5以上のイーサネットケーブルを使用して、信頼性の高いネットワークパフォーマンスを保証します
- イーサネットポートのLEDが点灯し、ネットワーク接続が有効であることを表示します
- 受信機がネットワーク上に追加されたShureのデバイスを検出すると、ネットワーク アイコンが点灯します
- すべてのコンポーネントは同一のサブネット上で動作する必要があります
- 大規模な設置には複数のイーサネットスイッチを使用してネットワークを拡張します

ネットワークトラブルシューティング

- ネットワークごとにDHCPサーバーは1台だけ使用してください
- すべての機器が同じサブネットマスクを共有しなければなりません
- すべての受信機に同じレベルのファームウェアをインストールしてください
- 各デバイスのディスプレイに点灯したネットワークアイコンが表示されていることを確認してください：

  アイコンが点灯していない場合、ケーブル接続とイーサネットポートのLEDをチェックします。

  ケーブルが接続されているのにイーサネットポートのLEDが点灯していない場合には、ケーブルを交換し、LEDとネットワークアイコンを再度チェックします。

WWB6からネットワークへの接続状況をチェックするには：

1. WWB6ソフトウェアを起動し、Inventoryビューでネットワークに接続された機器を表示させます。
2. 表示されない場合は、受信機等のネットワーク上のいずれかの機器からIPアドレスを調べ、WWB6が動作しているコンピューターからpingにより接続を確かめます。
3. WINDOWS/MACコマンドプロンプトから、デバイスに対し「ping IPADDRESS」と入力します（例：「ping 192.168.1.100」）。
4. pingが成功した場合（パケット損失なし）、パソコンはネットワーク上の機器と通信できます。Pingに失敗した場合（100%パケット損失）、パソコンのIPアドレスをチェックし受信機と同じサブネットになっているか確認します。
5. Pingが成功しても機器がWWB6インベントリに表示されない場合、すべてのファイアウォールが無効になっていること、WWBネットワークトラフィックがアプリケーションへ渡されることが許可されていることを確認します。ファイアウォール設定がネットワークアクセスをブロックしていないかチェックします。

IPアドレスとサブネットマスクの手動設定

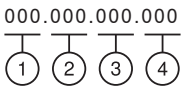
IPアドレスとサブネットマスクは、受信機の詳細メニューから、またはワイヤレスワークベンチ6のモニターパネルから手動で設定できます。

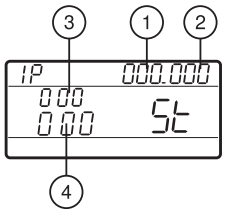
適切なネットワーク通信を確保するために、手動入力されるネットワーク設定は、有効でありかつIPプロトコルに準拠する必要があります。

受信機メニュー

IPアドレスとサブネットアドレスには、4つの 数字のグループが含まれています。各グループには最大で3桁含めることができます。各グループは小数点で分離されます。

IPアドレスまたはサブネットアドレスを設定する際は、4つのグループそれぞれを個別に編集する必要があります。以下の図は、グループがどのようにして受信機にマップされるかを表示しています：



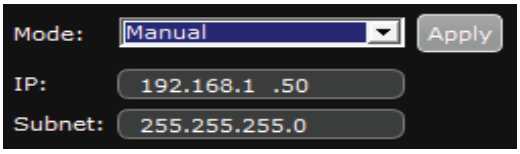


1. 詳細メニューにアクセスするには、menuボタンを長押ししながらenterを押します。
2. menuボタンを押して、IPメニューにナビゲートします。
3. 矢印ボタンを使用してモードをSt（静的）に設定しenterを押します。
4. 矢印ボタンを使用して最初のグループを編集します。enterを押して保存し、次のグループに進みます。
5. 矢印ボタンとenterボタンを使用して残りの3つのグループを編集します。
6. グループ4が編集されると、ディスプレイにはサブネットマスクメニューが表示されます。矢印ボタンを使用して、各サブネットマスクグループに関するプリセット値をスクロールして選択します。
7. 終了したら、Enterを押して設定を保存します。

注：自動DHCP IPアドレス設定に戻すには、IPメニューを入力してAU（自動）を設定します。また、Network Resetメニューオプションを使用してDHCPアドレス設定を戻すことができます。

Wireless Workbench 6

1. WWB6でChannel Propertiesタブを開きます。
2. Utilitiesをクリックしてネットワークモードを Manualに設定します。
3. IPとSubnetフィールドに有効な数字を入力します。
4. 終了したら、Applyを選択します。



ネットワークスキャン

ネットワークスキャン機能は、1台の受信機を使用することにより周波数割り当てを自動化し、同一の周波数帯域内のすべてのネットワーク受信機に周波数をスキャンおよび配置します。

ネットワークスキャンと周波数配置

1. 受信機を有効なイーサネットネットワークに接続します。すべての受信機を同じサブネット上にしてください。
2. ネットワークスキャンを実施する前に、すべての受信機をオンにしてすべての受信機がネットワークに加わるまで60秒間待ちます。
3. ネットワークスキャンを開始するために使用される受信機上に配置するためのグループまたはカスタムグループを選択します。
4. ネットワークスキャンを開始するには、menuボタンを押してnetwork scanメニューにナビゲートします。を押しますenter。
5. スキャンが完了すると、周波数を待っている受信機のディスプレイが点滅します。
6. enterを押して周波数を配置するか、menuを押して配置をキャンセルします。
7. 配置された周波数が割り当てられると、各受信機の前パネルのLEDが点滅します。

注: 完全な周波数の配置は、ネットワーク内の受信機の数が選択したグループ内で利用可能な周波数の数を超えると発生しない可能性があります。別のグループを試行するか、未使用の受信機をオフにしてから再スキャンしてください。

外部コントロールシステムに接続する

受信機はイーサネットケーブルを通し、外部操作システム（AMXまたはCrestron）に接続します。

- 接続：イーサネット（TCP/IP、QLXD受信機はクライアントです）
- ポート：2202

コマンド文字列の完全なリストについては、以下にアクセスしてください：http://shure.custhelp.com/

Shure AXT600スペクトラムマネージャー適合性

QLX-D受信機はAxient AXT600スペクトラムマネージャーに適合します。ネットワーク化した受信機は機器のインベントリに表示され、適合周波数リストの周波数はスペクトラムマネージャーで配置とモニターすることができます。スペクトラムマネージャーの詳細はAxientシステムガイドを参照してください。

QLX-DをShure ULX-Dと使用する

QLX-DとULX-Dコンポーネントグループの送信機と受信機はオーディオチャンネルを形作るためにペアリングすることができます。

機能性を保証するため、受信機と送信機で以下の設定を使用してください：

- 暗号化は次のようにセットされています： Off
- 高密度モードをOffに設定（ULX-D受信機）
- 手動で受信機と送信機を同周波数に同調する。QLX-DとULX-Dコンポーネント間の赤外線（IR）同期はサポート対象外です。

オーディオチャンネル作成には、受信機の周波数を送信機の周波数と合うように手動でセットしてください。

QLX-Dをワイヤレスワークベンチ6で管理する

Shureのワイヤレスワークベンチ6（WWB6）ソフトウェアはQLX-D受信機のネットワーク化されたモニタリングと操作を可能にします。WWB6の追加ツールではRFスペクトラムモニタリング、ネットワーク環境設定とファームウェア更新が可能です。

ワイヤレスワークベンチソフトウェアの無料ダウンロードは次のサイトをご覧下さい：www.shure.com/wwb

設定の管理とモニタリング

ワイヤレスワークベンチのMonitorタブを開いて受信機設定を管理およびモニタリングします。Settingsボタンをクリックし、Propertiesウィンドウ全体を表示、または非表示にしてください。

① RFおよびオーディオメーター
表示：現在のレベル、帯域、TV、TXオーバーロード

② 送信機設定
表示：RF出力、Txタイプ、マイクオフセット、Txロック

③ 周波数設定
ドロップダウンを使って周波数値を編集します

④ 暗号化アイコン
暗号化が有効になると点灯します

⑤ 受信機ゲイン設定
ドロップダウンを使ってゲイン設定を上げたり下げたりします

⑥ カスタムグループ
カスタムグループを作成するためにはクリックしてください

⑦ ユーティリティー
受信機機能にアクセスします

⑧ ネットワークタブ
ネットワークモードを設定し、以下を表示します：IPアドレス、サブネット、MAC、ファームウェアバージョン、ネットワークリセット

⑨ 暗号化
暗号化を有効/無効にします

⑩ 受信機のロック
ロック/ロック解除：Menu、Gain、 Power

WWB6インベントリーにある受信機を表示します

Inventoryタブをクリックして受信機チャンネルを表示します。パラメーターを編集するにはダブルクリックします。

ヒント：チャンネル名の隣の受信機アイコンをクリックすると遠隔識別用に受信機の前パネルのLEDが点滅します。

ハードウェア識別

ハードウェア識別が受信機から実行命令を受けたとき、対応する受信機の画像がWWBインベントリディスプレイ内で点滅し、遠隔識別を可能にします。

ハードウェア識別は、enterボタンを少なくとも3秒間長押しすることにより、受信機から実行命令を受けることができます。WWBインベントリ画面のDismissボタンをクリックして機能を終了します。

ファームウェアアップデート

ファームウェアは各コンポーネントに埋め込まれたソフトウェアで機能をコントロールします。定期的に新しいバージョンがリリースされ、機能の追加や拡張を行われます。

ファームウェアバージョン

受信機ファームウェアを更新する際、送信機を同じファームウェアバージョンに更新して一定した動作が得られるようにします。

ファームウェアバージョンは、MAJOR.MINOR.PATCH（例： 1.2.14）の形式で番号を付けられています。少なくとも、ネットワーク上のすべてのデバイス（送信機を含む）は同じメジャーファームウェアバージョン番号とマイナーファームウェアバージョン番号（例：1.2.x）を有する必要があります。

ファームウェアのダウンロードと更新

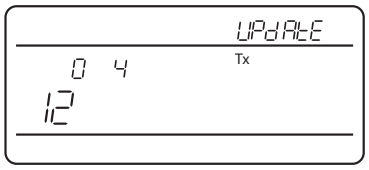
無料のShureアップデートユーティリティツールは、www.shure.comで入手できます。また、ShureアップデートユーティリティはShureワイヤレスワークベンチソフトウェアとセットで販売されています。

Shureアップデートユーティリティを使用するには、ヘルプ説明を参照してください。

受信機を更新する

注意!ファームウェアアップデート中に受信機電源とネットワーク接続が維持されるようにしてください。更新が完了するまで受信機の電源をオフにしないでください。

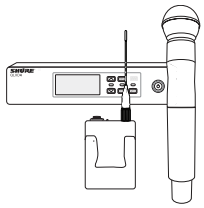
1. 受信機とコンピューターを同じネットワークに接続します。
2. Shureアップデートユーティリティを開きます。
3. firmwareタブをクリックして利用可能な更新を検出します。
4. ファームウェアファイルを手動でインポートする場合は、Importボタンを使用します。
5. UpdateDeviceタブをクリックして各デバイスの隣のVersiontoinstallボックスにチェックマークを付けます。
6. SendUpdatesをクリックしてファームウェアをネットワークデバイスにロードします。
7. ダウンロードが完了すると、更新されたファームウェアがインストールされた状態で受信機が再起動します。



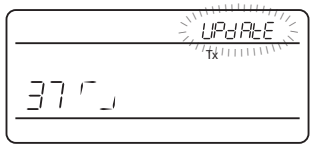
送信機を更新する

ファームウェアが受信機にダウンロードされると、ファームウェアには送信機用のファームウェア更新が含まれます。更新済みファームウェアは、IR同期ポートを使用して受信機から渡ります。

1. 詳細メニューにアクセスするには、menuボタンを長押ししながらenterを押します。menuボタンを使用してupdateメニューにナビゲートします。
2. enterを押して更新を開始します。
3. 赤のIR LEDが点滅したら、受信機と送信機のIR同期ポートを向かい合わせにします。赤のLEDが点灯したままになると正しく向かい合わせになっていることを示し、ダウンロードが自動的に開始します。
4. 更新中は向かい合わせの状態を維持し、受信機の画面上でダウンロードの進捗状況（0から100%）を監視します。



< 15 cm (6 in.)



5. 更新が完了すると、受信機のディスプレイに"TXUpdategood"が表示されます。

エラーコードと解決策

システムのパフォーマンスに影響を与える可能性のある状況を受信機が検出すると、エラーコードが生成されます。

受信機にエラーが表示される場合、以下の表を使用して問題を特定し、対応する解決策を見つけてください。

エラーコード	説明	解決策
Err.001	オーディオの互換性	送信機と受信機のファームウェアを最新のバージョンに更新してください。
Err.002	Shureの製品ライン間の暗号不一致	QLX-DやULX-Dなどの様々なShureの製品ラインのコンポーネントについて暗号をoffに設定します。
Err.003	暗号モードの不一致	送信機と受信機間でIR同期を実行してエラーを除去します。
Err.004	帯域の不一致	受信機と送信機が様々な帯域からの重複した周波数で動作しています。
Err.005	周波数の不一致	受信機と送信機が、互換性のある周波数を共有していない帯域からきています。
Err.006	周波数が検出されない	再スキャンする、またはWWBを使用して周波数を検出します。
Err.007	ファームウェア不一致	送信機と受信機のファームウェアを更新します。
Err.008	Shure SB900の電池動作時間が表示されない	電池が電池コンパートメントにしっかりと装填されていることを確認してください。状況が変わらない場合は電池を交換してください。

トラブルシューティング

問題	解決策
音が聞こえない	電源、ケーブルまたは無線周波数
音が小さい、または歪んでいる	ゲイン、ケーブル、干渉を減らすまたは無線周波数
レンジが狭い、不快なノイズバーストがある、音の欠落がある	RF
送信機の電源をオフにできない、周波数設定を変更できない、受信機をプログラムできない	インターフェースのロック
暗号化を無効にした後に受信機のディスプレイにFAILと表示される	暗号不一致
グループとチャンネルのディスプレイがと表示する "--"	カスタムグループのIR同期

電源

受信機と送信機には、十分な電圧を供給してください。電池インジケーターをチェックします。必要に応じて電池を交換または充電してください。

ゲイン

受信機前面パネルでシステムゲインを調整します。受信機背面にあるmic/lineスイッチ設定（XLR出力のみ）が、ミキシングコンソール、アンプ、またはプロセッサーの入力に適していることを確認します。

ケーブル

すべてのケーブルとコネクターが所定の位置に完全に固定またはロックされていることをチェックします。ケーブルの損傷を点検します。必要に応じて交換してください。

インターフェースのロック

送信機と受信機は、誤って設定を変えてしまったり権限のない人が変更したりすることを防ぐため、ロックできるようになっています。ロックされているコントロールにアクセスすると、ディスプレイのロックアイコンが点滅します。受信機または送信機のロックを解除するには説明に従ってください。

ファームウェア不一致

ペアリングした送信機と受信機は同じファームウェアバージョンをインストールし、一定した動作が得られるよにします。ファームウェアアップデート方法については、ファームウェアアップデートトピックを参照してください。

暗号不一致

暗号化キーの不一致が検出されたことを示します。受信機と送信機間でIR同期を実行してエラーを除去します。

カスタムグループのIR同期

カスタムグループを使用する際は、受信機のCustom Groupsメニューから常にIR同期を実行し、グループとチャンネルの情報が正確に表示されるようにします。詳細についてはCustom Groupsトピックを参照してください。

無線周波数（RF）

リンクされた送信機が受信機の受信可能な距離にある場合、青いRF LEDが点灯します。パフォーマンスの前に送信機の範囲を測定し、指定された送信機の範囲を超えて動作しないようにします。

RFメーターバーは、受信されているRF電源の量を表示します。この信号は送信機からのものも、**またテレビ放送などの干渉電波源からのものも含まれます。**送信機がオフの際にメーターが信号レベルを表示する場合、そのチャンネルには干渉がある可能性があります。周囲に干渉源がないかチェックする、または受信機をクリアな周波数に変更します。

赤のRFLEDは、RFオーバーロードを示します。複数のシステムを近くで動作させないでください。

周波数の互換性

- スキャンと同期を実行し、送信機と受信機が同じチャンネルまたは周波数に設定されていることを確認してください
- 送信機と受信機のレベルを見て、同じバンド（G50、J50、L50等）であることを確認してください。

干渉を減らす

- スキャンを実行して最適な空き周波数を検出します。IR同期を実行して送信機に設定を転送します。
- 複数のシステムについては、各受信機が固有のチャンネルに割り当てられていることを確認してください。2台の送信機が同じチャンネルに設定されると干渉が起こります。
- 送信機と受信機アンテナが目視線上にあるようにします。
- 受信機アンテナは、金属物やRF干渉電波源（CDプレーヤーやコンピューター、デジタル効果、ネットワークスイッチ、ネットワークケーブル、個人用ステレオモニター（PSM）ワイヤレスシステムなど）から離してください。
- RFオーバーロードをなくします（下記参照）。

レンジの拡大

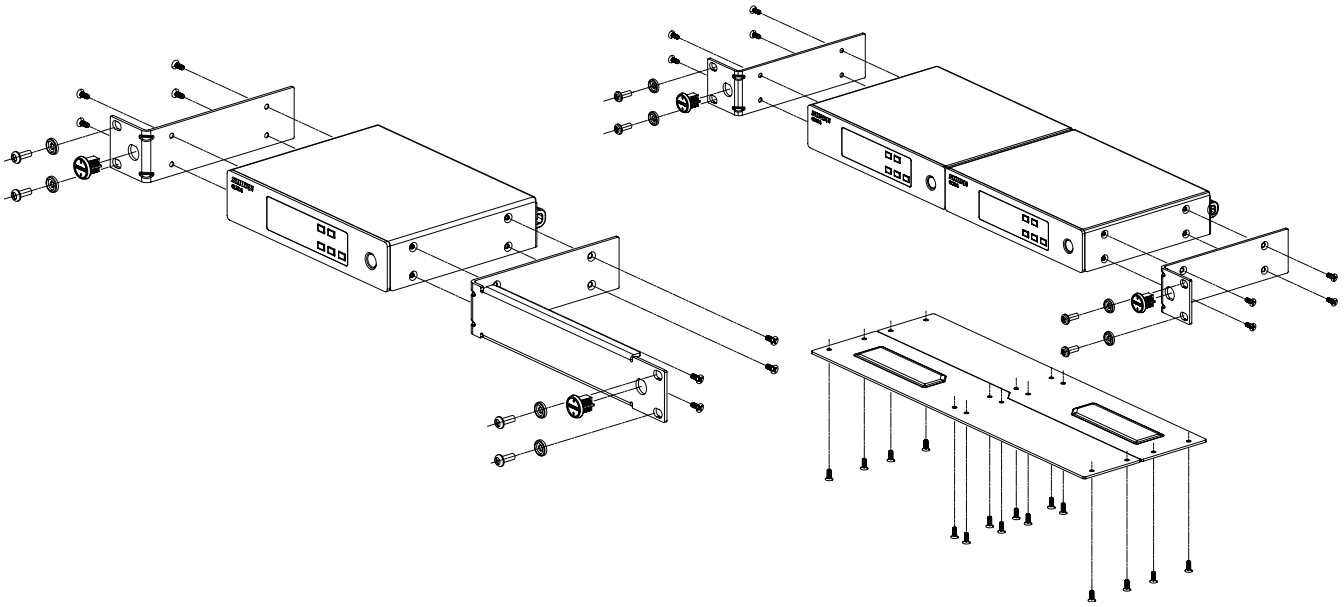
- 送信機RF出力レベルを以下に増やします Hi
- アクティブ指向性アンテナやアンテナ配分システムなどのアンテナアクセサリーを使用して、RFレンジを拡大します

RFオーバーロードをなくす

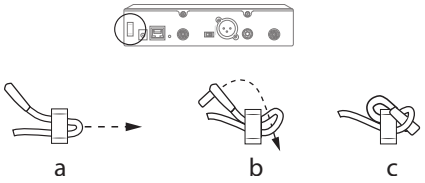
RFメーターにRFOLアイコンが表示される場合、以下を試行してください

- 送信機RF出力レベルをHiからに減らす Lo
- 送信機を受信機からさらに離す — 6 m以上
- アクティブアンテナを使用している場合は、アンテナまたはアンプのゲインを下げる。
- 無指向性アンテナを使用する

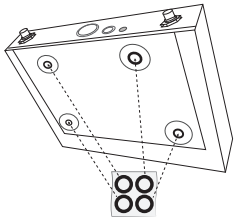
シングルおよびデュアルラックマウントアセンブリー



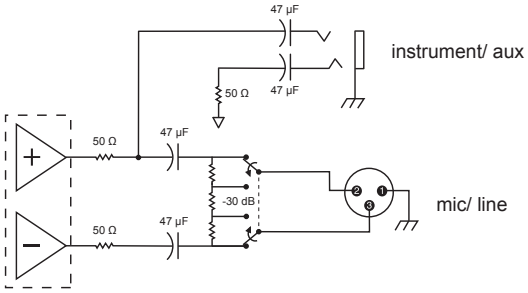
AC電源コードの固定



フットパッドの取り付け

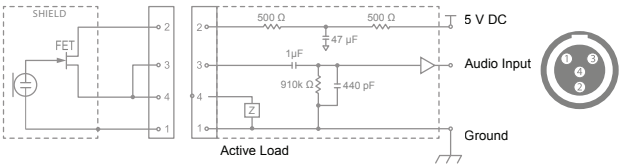


受信機出力コネクター



受信機出力接続

TA4M Connections



①	アース
②	バイアス電圧
③	音声入力
④	アース

オプションアクセサリー

電池と充電器

Shureリチウムイオン充電池	SB900
8パックShureリチウムイオン充電池	SB900-8
8ベイShure充電器	SBC800-US
PS45US電源装置付きデュアルドッキング充電器	SBC200-US
デュアルドッキング充電器（電源装置なし）	SBC200
1電池充電器	SBC100
Axient充電モジュール	SBC-AX
PS50US電源装置付き2ベイポータブル充電器	SBC210
ボディパック電源挿入部	SBC-DC

有効なアンテナスプリッタ

アンテナ分配システム	UA845 E
アンテナ分配システム	UA845 E "B"
アンテナ分配システム	UA845J
アンテナUHF-R 470-952 MHz	UA845-SWB
アンテナ、パワー分配UHF-R 470-952 MHz	UA845-SWB-AZ
アンテナUHF-R 470-952 MHz	UA845-SWB-BR
アンテナ、パワー分配UHF-R 470-952 MHz	UA845-SWB-C
アンテナ、パワー分配UHF -R 470-952 MHz	UA845-SWB-E
アンテナUHF-R 470-952 MHz	UA845-SWB-K
アンテナ、パワー分配UHF-R 470-952 MHz	UA845US

UHFアンテナパワー分配アンプ

UHF広帯域アンテナ分配（電源ケーブルなし）	UA844SWB/LC
UHFアンテナパワー分配システム	UA844SWB/LC-AR
UHFアンテナパワー分配システム	UA844SWB/LC-BR
UHFアンテナパワー分配システム	UA844SWB/LC-AZ
UHFアンテナパワー分配システム	UA844SWB/LC-C
UHFアンテナパワー分配システム	UA844SWB/LC-E
UHFアンテナパワー分配アンプ	UA844SWB/LC-J
UHFアンテナパワー分配アンプ	UA844SWB/LC-K
UHFアンテナパワー分配アンプ	UA844SWB/LC-UK

UABIAST

インライン電源	UABIAST-US
	UABIAST-UK
	UABIAST-BR
	UABIAST-AR
	UABIAST-E
	UABIAST-CHN
	UABIAST-K
	UABIAST-J
	UABIAST-AZ
	UABIAST-TW

インラインアンプとアンテナ

インラインアンテナアンプ、792～810 MHz	UA830A
インラインアンテナアンプ、470～698MHz	UA830USTV
インラインアンテナアンプ、500～900 MHz	UA830WB
インラインアンテナアンプ	UA830X
アクティブ指向性アンテナ470～790 MHZ	UA874E
アクティブ指向性アンテナ470～698MHZ	UA874US
アクティブ指向性アンテナ470～900MHZ	UA874WB
アクティブ指向性アンテナ925～952MHZ	UA874X
PSMシステム用の指向性広帯域アンテナ	PA805SWB
PSMシステム用の指向性広帯域アンテナ	PA805X
パッシブ無指向性アンテナ	UA860SWB
UHFパッシブアンテナスプリッタ	UA221
フロントマウントアンテナキット（ケーブル2本とバルクヘッド2個を含む）	UA600
リモートアンテナ金具（BNCバルクヘッドアダプター付き）	UA505
ヘリカルアンテナ、470～900 MHZ	HA-8089
ヘリカルアンテナ、944～952 MHZ	HA-8241

ケーブルとコネクター

同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ0.6 m	UA802
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG58C/Uタイプ、50オーム、長さ2 m	UA806
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ7.5 m	UA825
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG8X/Uタイプ、50オーム、長さ15 m	UA850
同軸ケーブル、BNC-BNC、RG213/Uタイプ、50オーム、長さ30 m	UA8100
イーサネットジャンパーケーブル、8インチ	C8006
イーサネットケーブル、3フィート	C803
イーサネットケーブル、10フィート	C810
イーサネットケーブル、高耐久性、100フィート	C8100
イーサネットケーブル、高耐久性、25フィート	C825
イーサネットケーブル、高耐久性、50フィート	C850

1/2波長無指向性受信機アンテナ

470-542 MHz	UA8-470-542
500-560 MHz	UA8-500-560
518-598 MHz	UA8-518-598
554-638 MHz	UA8-554-638
596-698 MHz	UA8-596-698
670-742 MHz	UA8-670-742
690-746 MHz	UA8-690-746
694-758 MHz	UA8-694-758
710-790 MHz	UA8-710-790
740-814 MHz	UA8-740-814
750-822 MHz	UA8-750-822
774-865 MHz	UA8-774-865
00-1000 MHz	UA8-900-1000

ハードウェア、ケース、およびアクセサリー

SLXシステム用ハードキャリーケース	WA610
ハンドヘルド型マイクロホン用回転防止装置	A1K
Shureハンドヘルド型送信機用ミュートスイッチ	UAMS/BK
ケーブル、楽器、長さ0.75 m、4ピンミニコネクター（TA4F）から1/4インチコネクター。	WA302
ケーブル、楽器、長さ0.7m、直角の1/4インチコネクター付き4ピンミニコネクター（TA4F）、Shureワイヤレスボディパック送信機に使用	WA304
プレミアムギターケーブルTQGスレッドコネクター	WA305
プレミアムギターケーブルTQGラッチコネクター	WA306
ケーブル、マイクロホン、長さ1.3m、4ピンミニコネクター（TA4F）からXLRコネクター（F）、Shureボディパック送信機に使用	WA310
TA4Fコネクター付きShureワイヤレスボディパック送信機用インラインオーディオミュートスイッチ。	WA360
インラインボディパックミュートスイッチ	WA661
Shureワイヤレスハンドヘルド型送信機を標準的なマイクロホンスタンドにしっかりと取り付ける。	WA371
すべてのShureボディパック送信機用ネオプレンボディパックアームポーチ	WA620

QLXD 仕様

送受信周波数帯域

470~937.5 MHz, 地域により異なります (周波数レンジおよび出力電源表を参照)

到達距離

100 m (328 ft)
注:実際の到達距離は、無線信号の吸収や反射、干渉により左右されます。

RFチューニングステップサイズ

25 kHz, 地域により異なります

イメージ抑圧比

>70dB, 標準

RF 感度

-97 dBm 10^{-5} BER時

遅延

<2.9 ms

周波数特性

QLXD1	20 ~ 20 kHz (±1dB)
QLXD2	注:マイクロホンのタイプにより異なります

オーディオダイナミックレンジ

システムゲイン @ +10

>120dB, Aウェイト, 標準

THD(全高周波歪率)

−12 dBFS入力, システムゲイン @ +10

<0.1%

システムオーディオ極性

マイクロホンのダイヤフラムへの正の圧力は、ピン2(XLR出力のピン3に対する)と6.35 mm出力のチップ端子に正電圧を生成します。

動作温度範囲

-18°C (0°F) ~ 50°C (122°F)
注:電池特性によりこの範囲は限定される場合があります。

保管温度範囲

-29°C (-20°F) ~ 74°C (165°F)
注:電池特性によりこの範囲は限定される場合があります。

QLXD4

寸法

41 mm x 197 mm x 151 mm (1.63 インチ x 7.75 インチ x 5.94 インチ), 高さ×幅×奥行き

質量

777 g (1.71 lb), アンテナなし

外装

スチール

使用電源

12 V DC @ 0.4 A, 外部電源により供給(チッププラス)

RF入力

スプリアス除去

>80dB, 標準

コネクターの種

BNC

インピーダンス

50 Ω

音声出力

ゲイン調整範囲

-18 ~ +42dB 1 dB刻み

構成

1/4" (6.35 mm)	インピーダンスバランス (チップ=オーディオ、リング=オーディオ無し、スリーブ=接地)
XLR	バランス (1 = アース、2 = オーディオ +、3 = オーディオ −)

インピーダンス

1/4" (6.35 mm)	100 Ω (50 Ω アンバランス)
XLR	100 Ω

フルスケール出力

1/4" (6.35 mm)	+12 dBV
XLR	LINE設定= +18 dBV, MIC設定= -12 dBV

Mic/Lineスイッチ

30 dBパッド

ファンタム電源保護

1/4" (6.35 mm)	はい
XLR	はい

ネットワーク

ネットワークインターフェース

シングルポートイーサネット 10/100 Mbps

ネットワークアドレス容量

DHCPまたはマニュアルIPアドレス

最大ケーブル長

100 m (328 ft)

QLXD1

マイクオフセットレンジ

0 ~ 21dB (3 dB刻み)

電池タイプ

Shure SB900 充電式リチウムイオン または 単三電池 1.5 V

電池の持続時間

@ 10 mW

Shure SB900	最大10 時間
アルカリ乾電池	最大9 時間

電池持続時間チャートを参照

寸法

86 mm x 65 mm x 23 mm (3.38インチ x 2.57 インチ x 0.92 インチ) 高さ×幅×奥行き,アンテナなし

質量

138 g (4.9 オンス), 電池除く

外装

鋳造アルミニウム

音声入力

コネクター

4ピン・オス型ミニコネクター (TA4M), 詳細は図を参照してください

構成

アンバランス

インピーダンス

1 MΩ, 詳細は図を参照してください

最大入力レベル

1% THDで1 kHz

8.5 dBV (7.5 Vpp)

プリアンプ等価入力ノイズ(EIN)

システムゲイン設定 ≥ +20

-120 dBV, Aウェイト, 標準

送信出力

コネクター

SMA

アンテナタイプ

1/4波長

インピーダンス

50 Ω

占有周波数帯域幅

<200 kHz

モジュレーションタイプ

Shure特許デジタル

電源

1 mW または 10 mW
周波数レンジおよび出力電源表を参照, 地域により異なります

QLXD2

マイクオフセットレンジ

0 ~ 21dB (3 dB刻み)

電池タイプ

Shure SB900 充電式リチウムイオン または 単三電池 1.5 V

電池の持続時間

@ 10 mW

Shure SB900	最大10 時間
アルカリ乾電池	最大9 時間

電池持続時間チャートを参照

寸法

256 mm x 37 mm (10.1 インチ x 1.5 インチ) 長さ x 直径

質量

347 g (12.2 オンス), 電池除く

外装

機械加工アルミニウム

音声入力

構成

アンバランス

最大入力レベル

1% THDで1 kHz

145 dB SPL (SM58), 標準
注:マイクロホンのタイプにより異なります

送信出力

アンテナタイプ

一体型シングル帯域ヘリカル

占有周波数帯域幅

<200 kHz

モジュレーションタイプ

Shure特許デジタル

電源

1 mW または 10 mW
周波数レンジおよび出力電源表を参照, 地域により異なります

FREQUENCIES FOR EUROPEAN COUNTRIES

	Country Code Code de Pays Codice di paese Código de país Länder-Kürzel	Frequency Range Gamme de frequences Gamme di frequenza Gama de frequencias Frequenzbereich
QLXD-G51 470 - 534 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	All other countries	*
QLXD-H51 534 - 598 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	All other countries	*
QLXD-K51 606 - 670 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	All other countries	*
QLXD-L52 632 - 694 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	All other countries	*
QLXD-P51 710 - 782 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	all other countries	*
QLXD-Q51 794 - 806 MHz 1 or 10 mW	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	All other countries	*
QLXD-S50 823 - 832 MHz 863 - 865 MHz 1 or 10 mW	D	license free
	A, B, BG, CH, CY, CZ, D, DK, EST, F,	*
	FIN, GB, GR, H, HR, I, IRL, IS, L, LT,	*
	M, N, NL, P, PL RO, S, SK, SLO, TR,	*
	863 - 865 MHz	EU: license free
	all other countries	*

*NOTE: This Radio equipment is intended for use in musical professional entertainment and similar applications. This Radio apparatus may be capable of operating on some frequencies not authorized in your region. Please contact your national authority to obtain information on authorized frequencies and RF power levels for wireless microphone products.

*REMARQUE : Ce matériel radio est prévu pour une utilisation en spectacles musicaux professionnels et applications similaires. Il est possible que cet appareil radio soit capable de fonctionner sur certaines fréquences non autorisées localement. Se mettre en rapport avec les autorités compétentes pour obtenir les informations sur les fréquences et niveaux de puissance HF autorisés pour les systèmes de microphones sans fil.

*HINWEIS: Diese Funkausrüstung ist zum Gebrauch bei professionellen Musikveranstaltungen und ähnlichen Anwendungen vorgesehen. Dieses Gerät kann möglicherweise auf einigen Funkfrequenzen arbeiten, die in Ihrem Gebiet nicht zugelassen sind. Wenden Sie sich bitte an die zuständige Behörde, um Informationen über zugelassene Frequenzen und erlaubte Sendeleistungen für drahtlose Mikrofonprodukte zu erhalten.

*NOTA: Este equipo de radio está destinado para uso en presentaciones musicales profesionales y usos similares. Este aparato de radio puede ser capaz de funcionar en algunas frecuencias no autorizadas en su región. Por favor comuníquese con las autoridades nacionales para información sobre las frecuencias autorizadas y los niveles de potencia de radiofrecuencia para micrófonos inalámbricos.

*NOTA: questo apparecchio radio è concepito per l'intrattenimento musicale a livello professionale ed applicazioni simili. Questo apparecchio radio può essere in grado di funzionare a frequenze non autorizzate nel Paese in cui si trova l'utente. Rivolgetevi alle autorità competenti per ottenere le informazioni relative alle frequenze ed ai livelli di potenza RF autorizzati nella vostra regione per i prodotti radiomicrofonici.

*OPMERKING: Deze radioapparatuur is bedoeld voor gebruik bij professionele muzikale amusementsproducties en soortgelijke toepassingen. Dit radioapparaat kan mogelijk werken op bepaalde frequenties die niet zijn toegestaan in uw regio. Raadpleeg de autoriteiten in uw land voor informatie over goedgekeurde frequenties en RF-vermogensniveaus voor draadloze microfoons.

*ПРИМЕЧАНИЕ. Данная радиоаппаратура предназначается для использования в профессиональных музыкальных представлениях и аналогичных приложениях. Может оказаться, что эта радиоаппаратура в состоянии работать на некоторых частотах, не разрешенных в вашем регионе. За информацией о разрешенных частотах и уровнях РЧ мощности для беспроводных микрофонных систем обращайтесь в национальные органы власти.

認証

本製品は、関連するすべての欧州指令の基本的要件を満たし、CEマークに適合しています。

CE適合宣言書は以下より入手可能です:www.shure.com/europe/compliance

ヨーロッパ認可代理店:
Shure Europe GmbH
ヨーロッパ、中東、アフリカ地区本部:
部門:EMEA承認
Jakob-Dieffenbacher-Str. 12
75031 Eppingen, Germany
Tel: 49-7262-92 49 0
Fax: 49-7262-92 49 11 4
Eメール: EMEAsupport@shure.de

FCCパート74認証。

カナダにおいて RSS-123 および RSS-102 により IC 認可。

FCC規則第15章の適合宣言(DoC)規定により認可。

カナダにおいてRSS-210によりIC認可。

IEC 60065に基づく電気安全要件に適合しています。

RSS-210、RSS-GENに準拠および／または認証されています。

QLXD1, QLXD2

IC:616A-QLXD1G50、616A-QLXD1H50、616A-QLXD1J50、616A-QLXD1L50、616A-QLXD2G50、616A-QLXD2H50、616A-QLXD2J50、616A-QLXD2L50.

FCC:DD4QLXD1G50、DD4QLXD1H50、DD4QLXD1J50、DD4QLXD1L50、DD4QLXD2G50、DD4QLXD2H50、DD4QLXD2J50、DD4QLXD2L50.

SHURE®

LEGENDARY
PERFORMANCE™

©2014 Shure Incorporated

United States, Canada, Latin America, Caribbean:
Shure Incorporated
5800 West Touhy Avenue
Niles, IL 60714-4608 USA

Phone: 847-600-2000
Fax: 847-600-1212 (USA)
Fax: 847-600-6446
Email: info@shure.com

Europe, Middle East, Africa:
Shure Europe GmbH
Jakob-Dieffenbacher-Str. 12,
75031 Eppingen, Germany

Phone: 49-7262-92490
Fax: 49-7262-9249114
Email: info@shure.de

Asia, Pacific:
Shure Asia Limited
22/F, 625 King's Road
North Point, Island East
Hong Kong

Phone: 852-2893-4290
Fax: 852-2893-4055
Email: info@shure.com.hk

PT. GOSHEN SWARA INDONESIA
Kompleks Harco Mangga Dua Blok L No. 35 Jakarta Pusat

I.16.GSI31.00501.0211